



# まねっこしてみよう！

今日もホールで体を使って遊びました！  
先生のする動きを”まねっこ”してみよう😊

空間

～ぼく・わたしの体～  
第1週：見本をみせる  
発達領域：空間の理解



はじめに「おしり歩き」してみました。  
普段することがない動きでしたが、みんな前に  
進もうと足を曲げ伸ばしたり、腕を思いっきり動かしながらゴールを目指していましたよ。  
「次はなにがいいかな？」と聞くと  
「うさぎ！」「ぞう！」「おたまじゃくし！」  
ができました。

2024. 7. 31

ぞう🐘  
大移動です

おしり歩き  
やってみよう🎵

うさぎは？ジャンプ！ぞうは？と聞くとすぐに  
高這いする子やハイハイをして楽しむ子どもでした。



子どもたちもまねっこをすることや  
発見コーナーに置いてあるダンサーのポーズ写真を見て「イエ～イ🌟」と同じポーズをとって  
遊んでいます。

そこからみんなで色んなポーズをとって  
写真を撮ってみました📷  
ぜひ子どもたちの表情に注目してみてください！！

見て真似をする事は簡単なようで難しい  
部分もありますが、意図して体を動かして  
みることで動かしにくい部分も  
見えない部分も理解していくことで  
空間の理解が進んでいくと思います！







# 体をどうしたらくぐる？

今日はこれで遊ぼうと思うんだよね～と  
取り出したのは《フラフープ》！

子どもたちに『これどうやって遊ぶの？』  
と聞いてみると...

手を使ってバランスをとりながら、まっすぐ転がったり、手をひねって回したり、腰を使って回したり、ジャンプしたり、実演してみせてくれました！動きに注目してみると、普段から体の様々な部位と動きを使って遊んでいることがわかりますね！

子どもたちに『くぐる時体どうしたらいいの？』  
「小さくなるんだよ」「頭も下にー」

「ねずみさんみたいに小さくなるの！」と声が！  
頭を下げて腕はぎゅっと胸の前に、そして足を小刻みに動かして前に進み、順番でフラフープを《ねずみさん🐭》になってくぐっていましたよ！

体の部位の名前も自然とでて、その部分を意識しているようでした。くぐる、回すからフラフープを使って電車ごっこに遊びが発展していくのでした。電車ごっこ1つでも、フラフープを持って、中に入るということ。友だちと前と後ろ。間に入る？これも、遊びの中で自然と空間への理解に繋がっていきますね！

空間

～ぼく・わたしの体～  
第2週：見本をみせる  
発達領域：空間の理解

2024. 8. 05

2人で息を合わせて  
どの位置にピンポン玉入れる？  
どのくらいひっぱる？  
これも空間の理解に  
繋がっていきます



自分の手と  
ぬり絵を見比べ中





# どうやって開ける??

布で隠された謎の物・・・何が入っているのか興味津々  
触ると布の中からはカチャカチャ音をする🤔

子どもたちは、その音を聞いて「あっ！」何かに気づいて答えが閃いたようでした。「発見コーナーにあるカギ～！」

ロックボックス：箱の側面や上部に様々なタイプのカギがついているおもちゃです！



そして先生から「これどうやって開けるの？」と聞かれると  
ぼくが開ける！わたしが開ける！

開け方を教えたい気持ちがいっぱいだったので、何人かに  
開けてもらいました。

開ける時も、「指でつまむんだね」や「鍵を回すんだね」  
「上にあげるんだね」「繋がっているから手と手で握手できるね」  
と体の部位やその動きを言葉にして対話をしました。

何気ない動きひとつでも体の部位を意識した言葉を使うことで  
子どもたちの遊びの中でも、自然と使うようになってきています！



隠すよ～目つむって！  
いいよ😊鍵を開けてどこに  
ベルが隠されているかを当て  
ています！

空間

～ぼく・わたしの体～

第2週：見本をみせる  
発達領域：空間の理解

2024. 8. 08

ひまわりの種ひとつずつ  
丁寧に採ってくれました♪  
黒いタネと白いタネが  
ある事を発見！





# 耳👂で音を聞いて動いてみよう🎵

今日は、初めての《イス取りゲーム》にチャレンジしてみました。  
始める前にみんなに《イス取りゲーム》を知ってる？と聞いてみると...  
ルールをきちんと理解している子がいてビックリしました😲！  
そして、その子がみんなに順番通りにイス取りゲームの説明してくれて、  
その話をしっかりと聞くことができました。

ホールに出て先生が一度見本を見せてみました。  
音楽が鳴っている間は、イスの周りを歩きながら回る➡  
音楽が止まったら椅子に座る 簡単なルールのようなのですが、耳で音を聞いて  
目でイスの場所を確認し、座るという複数動きがあります。  
でも子どもたちは遊びの中でもルールを理解して楽しむことが出来るように  
なってきています。

空間  
～ぼく・わたしの体～

第2週：見本をみせる  
発達領域：空間の理解

2024. 8. 09



決定戦！  
白熱しました！



みんな～ピアノ弾くよ！  
止まったよ～！  
イス取りゲームの余韻で  
遊んでいます★





# からだの輪郭図描いてみよう



空間

～ぼく・わたしの体～

第3週：理解を広げる  
発達領域：空間の理解

2024. 8. 19

今日は、体の輪郭図を描いてみましたよ！  
モデルをしてくれる子が紙の上に横になると、先生がペンで体の周りにそって描き始めました。じっと見つめる子どもたち、、、すると先生が「この名前はなんですか？」と腕の部分を描きながら聞くと「て～！」「うでだよ～！」と二つの答えが出てきました！  
子どもたちの全体で見えている部位やピンポイントで見ている部位の違いによって答えが変わってくるなんておもしろいですよね。



先生が「これでいいかな？」と出来上がった輪郭図を見せると、、、じっと見つめて考えて自分たちの答えを導き出しましたよ！  
「まゆげ」「め」「みみ」「くち」「はな」「かみの毛」  
次々と声上がるのでした。そして顔のパーツを子どもたちから一つひとつクレヨンで付け足してもらい色も好きな色でパーツの形も子どもたちにお任せして自由に描きました。  
描き終わると「服着てないから、服も描こうよ♪」  
サークルタイムが終わるとみんなで、「口はリップで赤にする～！」  
「足は虹色～！」「カッコいいから腕は黒にする～！」  
ついに完成！！名前は《ぶんぶんちゃん♥》に決まりました。



出来上がった輪郭図を見て  
何かが足りない...??  
と考えている  
子どもたちです🤔



輪郭図を見ながら  
「この名前はなにかな？」  
体の部位一つずつ  
自分の手で触りながら  
確認していきましたよ☆



# 手で何ができるかな？

先生こまを回したいなあ～どうしたらいいかなあ～？  
口でふ～ってする？足で回せるかな～？その声を聞いた

子どもたちは「手で回すよ！」

先生が「手で回すんだね。そしたら、手で他に何ができる？」

子どもたちは、考えて”こまを回す”をヒントに

「ゲームができる」「じゃんけんができる」「水をすくえる」

「スプーンでご飯が食べられる」「頭洗える」「手を洗える」

「手が繋げる」他にもたくさんの言葉がでてきましたよ！

普段の生活の中で手を使って出来ている動作を言葉として  
伝えることができました。



空間

～ぼく・わたしの体～

第3週：理解を広げる  
発達領域：空間の理解

2024. 8. 22



♪おせんべいやけたかな～  
サークルタイムが終わった後  
に始めていました☆  
これも”手”を使う遊びですね



# 足で何ができるかな？



♪しあわせなら足ならそう～ドンドンと元気よく  
足を鳴らす子どもたち！

今日は、”足でなにができるかな？”の対話をしました。

「歩ける」「サッカーできる」「足バタバタできる」

「走れる」「足踏みできる」や足首を動かしてストレッチ  
みたいな動作をしてくれる子もいましたよ！

一つひとつみんなで動きをマネしながら、あれもできるね！

これもできるね！と話が膨らみました。

でも”足がなかったら？”と言った子がいて、それに対しては  
「車いすに乗って動く」「お医者さんで新しい足をつけてもら  
えば遊べるよ」と子どもたちで対話を進めているのでした。







# 頭のうしろはどうしたら見れる？

髪の毛にたくさんヘアピンを付けて、リボンを付けて  
部屋に入ってきた先生！何かついてるよ～！と笑う子どもたち。  
鏡を見ながら髪についてのヘアピンととっていきますが...

「まだちょうちょついてるよ～」

「どこ？先生から見えない！どうしよう」

「取ってあげようか？」でも先生は自分の目で見たいと言うと「鏡見ればいいんだよ！！」

でも鏡を使っても後ろ髪についてのちょうちょが見えない

子どもたちは”どうしたら先生が見れるのか”考えました

それから考えた事をやってみようとなり”頭についてのちょうちょ見えるかな？”

みんなで考えてみることにしました！

- ①「ゆり先生に後ろの写真撮ってもらえば見えるよ」写真を撮る角度も子どもたちが指示して撮ってみました！→ちょうちょが写っていました。
- ②先生の背後に回りちょうちょが鏡に映るようにセット。それから「はい！先生こっち向いて！」と先生の首を動かして「見えるでしょ・・・残念見えない。
- ③鏡を先生の正面上に持たせると「みえた～！！」

後頭部を見るためにはどうしたらいいか、考えたことを一生懸命言葉にして伝えていました。課題を解決するにはどうしたらいいだろう？これまでの経験をもとに、子どもたち自身で対話しながら方法を考える力がついてきています✨その後みんなで合わせ鏡で自分の後頭部が見える発見を楽しみました♪



空間

～ぼく・わたしの体～

第3週：理解を広げる  
発達領域：空間の理解

2024. 8. 23





# これは誰でしょうか??

子どもたちと目はどこ？鼻はどこ？など体の部位を確認から始まったサークルタイム！そこから、子どもたちの体の一部をアップにした写真を見て、これは誰か当てる事が出来るかの

『これは誰でしょうか？』クイズがスタート！！

先生が持つ写真に注目が集まります。

ジャジャン♪と先生が出したパーツは『目』

みんなじーっと見つめて考えます。友だちの名前をどんどんあげていきますが、当たらず、、、『目』は特徴的ですが、パーツだけになると難しいようでした。

ヒントを出すと正解することが出来ました。

次は『腕』これも難しいかなあと思うっていたら、少しだけ写っていた洋服の柄で自分だと気づいていましたよ。

1番盛り上がったクイズは『髪型』でした。みんなすぐに答えて、当てられた子は少し恥ずかしくて照れていました。

『耳』もすぐに正解したのですが、子どもたちに「なんでわかったの？」と聞くと「目のところにホクロあるから！」よく見ているからこそ気づけたポイントですよ！

「いつも見ているからわかるんだよー！」と話してくれた子もいました！

顔のパーツの形も、髪型も、服装もみんな違ってそれがいい！という個性を認め合える時間になりました！

空間

～ぼく・わたしの体～

第4週：理解を深める  
発達領域：空間の理解

2024. 8. 27

